

GOTOH[®] マグナムロック [MG] 取扱説明書

SD91 (クルーソントタイプ)・SE701シリーズ (オープンバックタイプ) ストレートネック用/L6またはR6タイプ

1 1 ブッシュ交換および糸巻きの取り付けについて

1) パッケージ製品をお買い上げの場合は、現在装着のブッシュをそのまま使用しますと糸巻きの性能および耐久性が損なわれます。必ず付属の専用ポンチでギターに現在付いているブッシュを打ち抜き(図1)付属の専用ブッシュに交換してください。この時、強く叩いて一気に打ち抜いたり、固着した物を無理に打ち抜くと塗装が剥離したりヘッドにクラックが入る事があります。また、ブッシュを打ち込む際も穴がきつまま無理に打ち込むとヘッド割れやクラックの原因となりますのでご注意ください。パッケージには2種類のブッシュが付属されていますので、打ち込み(ローレット)部寸法がヘッド穴に合うものを使用してください。



図1

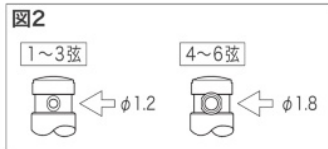
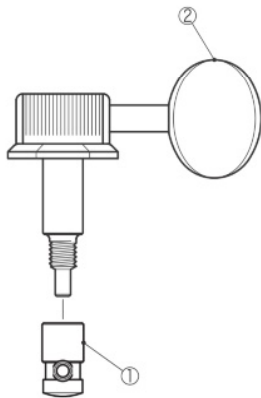


図2

2) ロックナット①の弦通し穴の小さい物(糸巻き本体裏側にシールが貼ってある物)が1・2・3弦用、弦通し穴の大きい物(糸巻き裏にシールのない物)が4・5・6弦用です(図2)。取り付けの際、偏った取り付けをすると糸巻きの性能および耐久性が損なわれますので巻き軸がブッシュ穴のセンターになるように取り付けをしてください。また、付属の木ネジで糸巻きを固定する際、固いのを無理にネジ込むと木ネジが折れたりヘッド割れやクラックの原因となりますので必ず適した下穴をあけてください。

***上記作業を行う際は事故のないよう慎重に行ってください。不安に思われる時はお近くのリペアショップでの交換をお勧めいたします。ご自身で交換された際のトラブルや事故等に関しましては当社では保障いたしかねますのでご了承のほどお願いいたします。



2 2 弦の張り方

***マグナムロックは弦のテンションによってロックされるシステムです。ロックナット①をコイン等で強制的に回してもロックすることはできません。

***トレモロユニットがフローティングまたはヒップアップにセッティングされているギターではボディとトレモロ口の間にクッションを挟みトレモロ口が下がらないようにしておくこと。

1) ロックナット①は出荷時、圧着状態にあるため、コインまたはドライバー等をロックナット①の頭部の溝に合わせ、左(反時計)回転でロックナット①を緩めます。(図3)左



図3

ききやりリバースヘッド用はこれとは逆の回転操作になります。

2) ロックナット①を指でつまみ(図4)各弦の太さに合わせて弦が通る分だけ緩めます。この時必要以上に緩めると弦ロックが大変になります。また、場合によってはロックナット①が脱落することがありますので緩めすぎにご注意ください。



図4

3) 弦をロックナット①の穴に通し、弦穴の中心に弦があるよう強く引きながらツマミ②を弦を巻き上げる方向へ回します(図5)。ロックナット①が回り始めると弦は自動的にロックされるので弦を引く手を放し、指板側で弦が切れないように注意しながら各弦にストレッチをかけます(図6)。弦を巻き軸に1巻き以上巻くとマグナムロック本来の機能が損なわれるため、1巻き以内で調律ができるように弦をロックします。この時、弦は切らずに残しておき(図7)、1~6弦全ての調律が終わってから弦を切ってください。巻き軸1巻き以内で調律できない時はツマミ②を弦を緩める時と同じ方向へ回して弦通し穴を初期の位置より穴2~3ヶ分くらい戻し、ロックナット①の溝にコイン等を合わせ、左(反時計)回転でロックを解除して(図3)、この



図5

項の最初に戻り再ロックしてください。尚、左ききやりリバースヘッド用ではこれとは逆の操作となります。



図6



図7

3 3 弦交換

A) 弦が切れた時は、ロックナット①の頭部の溝にコイン等を合わせ、左(反時計)回転でロックを解除して(図3)弦を抜きます。尚、左ききやりリバースヘッド用はこれとは逆の操作となります。

B) 弦が切れずに残っている時は、ツマミ②を弦を緩める方向に回していくとロックが自動的に解除されるので弦を抜きます。この操作の途中で弦が切れた時は、ロックナット①をコイン等で左(反時計)へ回してロックを解除して(図3)弦を抜いてください。尚、左ききやりリバースヘッド用はこれとは逆の操作となります。

C) ニッパ等で弦を切る時は、弦を緩めてからカットし、ロックナット①にコイン等を合わせ左(反時計)回転でロックを解除して(図3)弦を抜きます。尚、左ききやりリバースヘッド用はこれとは逆の操作となります。

GOTOH[®]

群馬県伊勢崎市宮子町3040 〒372-0801
Phone 0270-25-3608(代) Fax 0270-23-8432